

平成26年度 事務事業評価シート

章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	I	特色ある農業・漁業の推進
目標		観光産業と連携した特色ある農業・漁業を推進する。

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標① 肉用牛等飼養数	頭	1,683	2,625	2,447	2,454	2,567	2,564	—	2,256
指標② ほ場整備面積	ha	328.1	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	—	583
指標③ 登別漁港水揚量	t	9,972	15,745	12,285	13,611	10,666	13,870	—	15,000
指標④ 登別漁港係船岸壁充足率	%	30.0	30.0	30.0	30.0	36.0	36.0	—	47.0
指標⑤ 農村地区の水洗化率	%	4.5	17.6	17.9	33.1	33.1	33.1	—	34.0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 高付加価値農業の展開	① 地場農水産物による加工研究開発の支援	・地場農水産物を利用した加工品の研究開発及び販売促進を支援します。
2-①	2 食の安全・安心の促進	① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進	・安全・安心な農産物を生産するクリーン農業の普及や高度衛生管理型漁港の整備を促進し、安全性が高く、品質の良い農水産物の供給を図ります。
2-②	2 食の安全・安心の促進	② 地産地消の推進	・地場農水産物に関する情報を市民や食品提供者等に発信し、地産食材の消費拡大を図ります。 ・地域の宿泊施設等での地場産品の利用促進に向けた取組を支援します。
3-①	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	① 新規就農者、担い手農業者への支援	・情報化や高度技術化する農業に対応できる人材を育成・確保するなど、新規就農者や担い手農業者への取組を支援します。 ・ゆとりある酪農・畜産経営の安定化に向け、酪農ヘルパー事業や市場への預託放牧などを促進し、労働軽減などを通じた省力化を進めます。
3-②	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	② 畜産生産基盤の整備	・飼料基盤や家畜飼養管理施設などの畜産生産基盤の整備を促進します。 ・農道や農地保全施設の整備を図ります。
3-③	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用	・畜産公害を防ぐため、家畜排せつ物を適正管理し、有機物資源としての有効活用を図ります。
4-①	4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させた農産物加工、農業体験に取組むなど、都市生活者との交流により農業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
4-②	4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させたマリンレジャーや水産物販売のイベントを開催するなど、都市生活者との交流により水産業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
5-①	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進	・漁業経営の安定と所得向上を図るため、資源の適正管理とつくり育てる漁業を推進します。 ・衛生管理対策の強化による水産物の高付加価値化を推進し、漁家所得の向上を図ります。
5-②	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	② 漁業経営の改善	・各種栽培事業、放流事業や漁船・漁具購入資金利子補給事業等に支援し、経営の安定と所得向上を図ります。
5-③	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	③ 漁港の整備促進	・鰹別漁港については、漂砂対策と港内静穏度の向上を図るため、施設整備を促進します。 ・登別漁港については、高度衛生管理型の対応を完備し、水産物の産地直売など都市交流型の水産業を目指した多目的な利用ができる漁港としての整備を促進します。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do														Check						Action				
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H27以降】					
								事業の目的	年度	対象者等※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	名称	H24決算	H25決算						H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
1	1-①	札内高原館運営管理経費 32111002	観光経済部 農林水産G	H18	—	ソフト	一般会計	地場農産物を活用した体験学習を提供することにより、体験型の特色ある農業の創出を図ることを目的とする。	H24	(株)のほりべつ酪農館 運営管理を指定管理者に委託し、農畜産加工物に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。 【指定管理期間】 平成24年4月1日～平成27年3月31日	登別市札内高原館条例、登別市札内高原館条例施行規則、登別市札内高原館の管理に関する協定書	札内高原館利用実績	人	交流室 572 体育館 1941 体験学習 439	交流室 300 体育館 2202 体験学習 247	交流室 450 体育館 2200 体験学習 350	交流室 450 体育館 2200 体験学習 400	交流室 450 体育館 2200 体験学習 400	交流室 450 体育館 2200 体験学習 400	交流室 450 体育館 2200 体験学習 100	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合計	2,955 2,249 5,204	2,959 2,232 5,191	2,954 2,689 5,643	2,954 2,689 5,643	2,954 2,689 5,643	2,954 2,689 5,643	H24以前 H25 H26	事業実施中に不測の事務改善を検討・実施してありますが、事業内容に変更はありません。 事業の実施により、市民がコミュニティ施設を利用し交流が図られるとともに、体験学習では市民や観光客が農業への理解を深められ、地場農産物の宣伝と販売促進が図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	維持	体験学習やコミュニティ施設の活用により、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛が確保され、酪農経営における生産性の向上を図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	体験学習やコミュニティ施設の活用により、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。
2	2-①	胆振西部乳牛検定組合補助金 32121003	観光経済部 農林水産G	H10	—	ソフト	一般会計	乳質改善に取組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。	H24	胆振西部乳牛検定組合 乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 ・市内酪農家検定実施戸数：6戸	登別市農林業等振興補助金交付要綱	1頭当たり生産乳量	kg	8,847	8,397	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合計	429 429 429	429 429 429	429 429 429	429 429 429	429 429 429	429 429 429	H24以前 H25 H26	事業実施中に不測の事務改善を検討・実施してありますが、事業内容に変更はありません。 生産者が乳牛検定成績を活用することにより、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛が確保され、酪農経営における生産性の向上を図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	維持	今後も乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。

